

里海いろの紙でカレンダーを作る ハンドアート講座 開催しました！



- 日時 令和4年12月4日（日）13：00～15：00
- 会場 せとうちサスティナブルヨットハーバー（高松市浜ノ町）
- 講師 モーネ工房 井上 正憲（プロダクトデザイナー）
井上 由季子（グラフィックデザイナー）

12月4日（日）に、「里海いろの紙でカレンダーを作るハンドアート講座」を開催し、小学生2名を含む9名が受講しました。せとうちサスティナブルヨットハーバーの海が見える部屋で、いろいろな瀬戸内海色の紙を好きな形に切り抜き、自分が感じた「海」のカレンダーを作りました。

はじめに、講師よりモーネ工房の活動についてのお話がありました。2017年に京都から三豊市仁尾に活動の拠点を移し、切り抜き通信寺子屋や高齢者施設でのワークショップなどの活動を行っているそうです。そして、モーネ工房の生徒さんが制作した作品の紹介があり、見本そっくりに真似て作る必要はなく、五感で感じたものを素直に表現して欲しいというお話がありました。



カレンダーを作る前のウォーミングアップとして、気に入った里海いろの紙を一枚だけ選び、選んだ紙を半円に切って紙袋に貼り付けしました。材質の異なる紙、絵の具を塗った紙、色鉛筆でタッチをつけた紙など、今回の講座のために1枚ずつ手作りしていただき、受講者たちは楽しそうにお気に入りの一枚を選んでいました。

その後、作品をみんなで鑑賞しました。受講者たちは、選んだ紙によって表情の異なる山が表現出来ることにとても驚いた様子でした。



作品を鑑賞した後、カレンダー作りがスタートしました。瀬戸内海に浮かぶヨットや船を眺めながらイメージを膨らませ、里海いろの紙を選んでいました。作り方も受講者によって様々で、1年のなかで好きな月から作り始めるなど、型にとらわれることなく自由に作品を作っていました。

カレンダー作りの後半では、出来上がった作品からボードに張り、作品を眺めながら作業を進めました。自然と受講者同士の会話も増え、作品を見せ合いながら楽しく作っている様子がとても印象的でした。そして、時間の経過とともに海の様子も変化し、ボードもたくさんのカレンダーでカラフルに彩られていきました。



その後、カレンダーをみんなで鑑賞しました。講座の最後に講師より、「作品は人それぞれの良さがあり、海の景色が365日違うように、それぞれの感じ方が違う。手と心を動かして作ったカレンダーを見ることで、今日のことや里海について思い返して欲しい」とお話がありました。

受講者より「想像力をはたらかせて、楽しく作ることができました」、「一緒に受講されている方にも刺激をもらった」等の感想がありました。

